

本資料は Arcserve UDP コンソールを利用せず、Linux Agent のみで運用している構成を前提とした資料です。Arcserve UDP コンソールを利用した運用を利用している場合の作業については「Arcserve UDP Console での計画停電時の注意事項と作業方法」を参照します

■ 計画停電によるシャットダウン前の確認と作業

1. シャットダウン前の確認事項

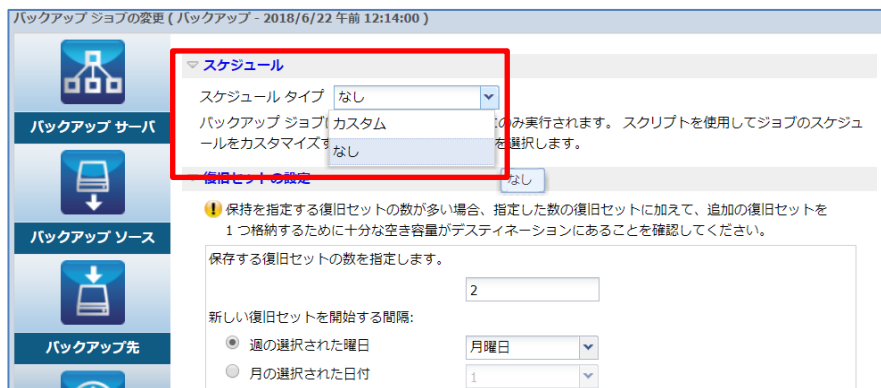
- ➔ バックアップ スケジュールを確認し、停電時間帯に設定されていないか確認します。
停電時間帯にスケジュールされている場合は、スケジュールの停止または変更を検討します。

※ Linux 単体のスケジュールは、「復旧セット」を利用するため、定期的なフル バックアップが必要です。フル バックアップが可能なスケジュールを検討して変更を行ってください。

2. シャットダウン前の作業

- ➔ 検討した方法でバックアップ スケジュールを変更します。

● スケジュールを無効にする



[スケジュール タイプ] を [なし] に変更することで、スケジュール設定のみを無効にします。
復電後、スケジュールを再度設定し [カスタム] に変更する必要がありますが、[バックアップソース]、
[バックアップ先]、および [復旧セットの設定] の設定はすべて維持されます。

● スケジュール日時を変更する

バックアップサーバにて、[ジョブ ステータス] にて該当するバックアップジョブを選択し、[変更] 画面にて、[拡張] メニューの [スケジュール] を開きます。



[設定例]

- 停電時間：9/14 (金) 21:00 ～ 9/15 17:00
 - スケジュール変更：金曜日を削除し、木曜日をフル バックアップに変更
- ※ 復電後、再度設定変更が必要です。

ここでは、金曜日のバックアップを動作させないよう金曜日のバックアップを削除しますが、復旧セットのための定期的なフル バックアップが必要です。そのため、木曜日をフル バックアップに変更し、復旧セットの開始曜日を木曜日に変更します。

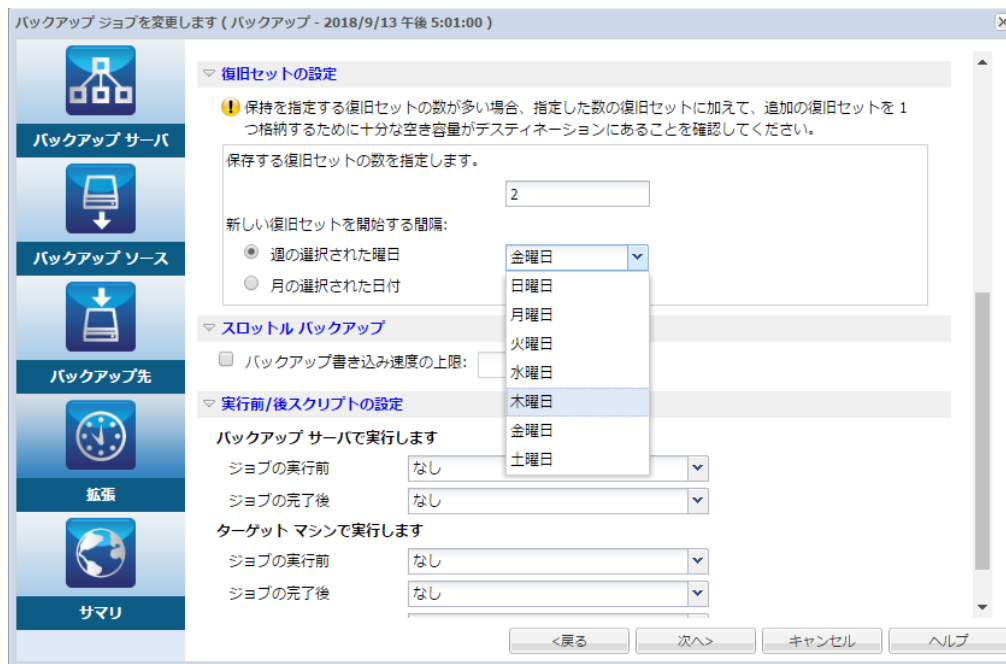
1. 金曜日のバックアップを削除

金曜日のジョブを選択し、削除をクリックします。



3. 復旧セットの木曜日をフル バックアップに変更

[復旧セットの設定] にて、[新しい復旧セットを開始する間隔] を木曜日に変更します。



注：バックアップ先がリモート共有フォルダや外付けディスク等に設定している場合は
停電復旧後に各デバイスの電源やネットワークの状態を確認しバックアップを実施します。
※ 復電後、再度スケジュールの設定変更を検討してください。

■ 計画停電時のトラブルシューティング

<サーバ停止中にバックアップ スケジュール時刻を超過した>

サーバ停止中にバックアップ スケジュール時刻を過ぎてしまった場合は、次回の**サーバ起動直後**に未実行のバックアップが実行されます。繰り返し間隔とスケジュール時刻によっては、複数回のバックアップ スケジュールがスキップされますが、サーバ起動直後に実行されるバックアップは直近の1回分のみです。

<シャットダウンすることなく、サーバの電源が切れてしまった>

次回のバックアップでは、必ず**検証バックアップ**が実行されます。検証バックアップでは、前回のバックアップデータと現在のディスクの状態とを比較しながらバックアップを行います。検証バックアップが正常に完了すれば、以降は増分バックアップでの運用を継続する事ができます。

※ **サーバ稼働中の停電により、ディスクが損傷している場合があります。ディスクが正常であることを確認した上でバックアップ運用を継続してください。**